



豊高だより

平成29年12月25日発行 通算45号

埼玉県立豊岡高等学校

題字：安田暁代（書道部2年）

巻頭言

校長 鈴木雅士

一 はじめに

晴天が続かず残暑がなかったような二学期でした。学校全体では、朝テスト、授業、部活動と、活気あふれる忙しい日常ですが、三年次生においては、これからの良いよとところどころです。すでに大学等への指定校推薦の決定、AO入試や公募推薦での合格や就職の内定も勝ち取ってきているところもあります。一月のセンター試験から始まる一般入試の本番に向けて、「決して諦めない」日々が続いていきます。

二 二学期を振り返って

勝負の球技大会で終える二学期も、始まりは九月初めの文化祭でした。年度当初から計画的に綿密な準備を重ね、当日は、各団体の発表、展示、企画など大いに工夫されたものになり、十分に総合力が発揮されたものになりました。昨年度より大幅に増えた来場者数からも、その盛況さがうかがえます。とくに、各クラス等の発表の賑わいととも、文化祭にふさわしい文化部の質の高い成果ともてなしに、地域の方々から多くの賞賛をいただき、大変うれしく

も思いました。夏休み中からの準備に労を尽くしてきた生徒の皆さんを讃えるとともに、ご来場下さいました保護者ならびにご協力いただきました関係各位の皆様には深く感謝申し上げます。



十月には第二回英語検定試験が行われ、先月発表の最終結果では、どの級においても合格者数が大幅な増加になりました。このことは、英語が得意な人も、そうではない人も、高い意識を持ってよく努力してきた成果といえるでしょう。高校に限らず、小中学校段階での英語教育の変化と充実が進展してきていることの表れともいえますが、その流れに連動するような授業学習を展開する本校ならではの特徴とも言えると思

ます。英語に限らず、生徒の皆さんの挑戦と頑張り、益々広がっていくことを期待するものです。

十一月中旬に二年次生が修学旅行で沖縄に行ってきました。三泊四日です。この期間、沖縄はずつと曇り空で、南国の強い日差しを期待していた人には少し物足りなかつたかもしれません。羽田出発時に離陸の時間が少し遅れ、初日に計画した平和祈念公園行きをなくしたこともありましたが、概ね予定どおりの行程を無事に行うことができました。とくに、集団での民家泊は、重要な体験学習でした。嬉しかったことも苦い体験も、良い思い出になったのではないのでしょうか。



先日、平成三十二年度から実施される新しいセンター試験であ

各年次より

『苦手な教科を捨てないこと』

一年次主任 山田龍彦

先日、進研模試の結果の見方と対策について、ベネッセの担当者として講師に返却会を行いました。成績表には全国の受験者約47万人中の偏差値と順位が記載されています。厳しい数字です。

講師からは「授業が基本である」「この結果に合わせて目標を下げない」「勉強の教え合いも実力養成に有効」等の話がありました。

「苦手な教科を捨てない」という大事なアドバイスもありました。受験に利用できる科目が減るだけではなく、これからの教育は「教科横断」が主流になり、高校・大学で学ぶ内容も変わるからです。

東大の理事の石井洋二郎は『「分断化された時代を生きる」の前身でこう書きます(カッコイイので長めに引用)。

「教養」を意味する culture という英語は「耕す」cultivate という動詞に由来する。したがって「フィールド」field という言葉も、「分野」「領域」である前に、まずは「畑」すなわち「耕すべき土地」という意味で解するべきだろう。「中略」自分の足で複数のフィールドを歩き回り、畑ごとに異なる土の匂いを嗅ぎ、さらには指先で

土に触れ、鍬を手にして実際に土地を耕してみることが必要なのだ。そうすることで始めて、「知識」という種子から「教養」という果実を実らせることが可能になるだろう。(ここまで引用)

『「役者バカ」と「バカ役者」の違いはなんですか』という質問がネットにありました。70年代に高校生だった私にとっては「専門バカ」は今でもプラスの評価ですが、今の大学は専門バカを養成する場ではありません。

私が中学生の時の話です。ある日テレビで映画『ダーティハリー』を見ていました。ハリー・キアラハン刑事は凶悪犯を追い詰めますが、感情的になり射殺、ラストでハリーはポケットから警察バッジを取り出すと川に放り投げます。一緒に見ていた父(理系一筋)は私に聞きました。「どういうこと?」いや、これは文系・理系の問題ではなく個人の問題でした。

『あと一年。覚悟を決めよう』

二年次主任 井口正則

沖縄への修学旅行は天候こそ今一つだったものの、マリンスポーツやむら咲き村での体験学習、美ら海水族館や伊江島での民泊等々、とても素晴らしい旅行になりました。また、好天の下に行われた期

末考査後の球技大会も、大いに楽しめたことと思います。

楽しめる時に楽しむことは悪いことではありません。しかし、やらなければならぬとわかつていながら、苦しいことや辛いこと、面倒なことから目をそらすのは、決してやってはいけないことです。今日、二年次生の二期の成績や出欠状況をまとめましたが、私はとても残念な思いでいます。

入学当初驚くほど少なかった欠席や遅刻は、増える一方です。一年次の一学期に二百六十名近かった学期皆勤者は、二年次の一学期には二百十名、そして今学期は百五十名となってしまいました。そしてそれ以上に残念なのは、この学期末に冬休みの進学講習や漢字検定への参加を連日のように呼びかけているのに対して、生徒の反応が鈍いことです。受験勉強を本格化させるのは二年生の二期から、というのは高校生の常識ですが、取りかかっている生徒はどのくらいいるでしょうか。

二期期が終わろうとしています。年が明ければ高校生活の残りあと一年です。進路実現のために使える時間は、もう決して多くはありません。先送りによることがもう許されない時期に来ていることを、自覚しなければなりません。残る一年をどう過ごすかが、

る「大学入学共通テスト」の試行テストが、全国の一部の高校を対象に大規模に行われました。新聞等でも報じられていましたが、国語と数学の記述式問題や、全ての教科のマークシート問題について、かなり難しくなっているとのことだ。思考・判断・表現の力量を計る問題を重点にした設問が多く、受験者には、じっくり立ち向かうタフさが求められるようです。たとえば、答えを選択肢から一つを選ぶのではなく、一つに限らないとか、無いなどの場合があるなど、解答方法の性質の変化にも驚かされます。大学・高校・高大接続の三位一体改革の行方や、新学習指導要領の改定をしっかりと見据えながらも、基礎基本の習得を重視し「勉強もするし部活も頑張る」ことを土台として地道な活動を続けて参ります。

三 おわりに

いよいよ大型駐輪場の建設が始まりました。通用門からの通路沿いに設置するのですが、今年と来年の二回に分けての工事です。自転車通学者が増加してきている今、安全な駐輪場所を確保しているかねばなりません。二年後の創立百周年に向け、新時代にふさわしい教育環境の整備を更に進めて参ります。

自分の将来を大きく左右することとは間違いないことなのでから。

『一般入試に向けて』

三年次主任 橋本克洋

今年も残り一週間ほどとなりました。年が明け、1月13・14日にセンター試験があります。いよいよ一般入試が始まります。本校では、進路指導部が中心となり、11月28日・12月18日には生徒を対象に「進路ガイダンス」を実施しました。1月10日には、「センター試験直前ガイダンス」の実施を予定しています。また、11月11日には、「進路保護者会」を実施いたしました。保護者の皆様には、お忙しい中本校に足をお運びいただきまして、まことにありがとうございます。

「進路保護者会」では、今年度入試の受験環境の情報として、大志願者数は前年並みの見込みであること。国立大学では、文系・教育系の定員が縮小されるものの、私立大学では、入学定員が61大学で合計6,841名が増加していること。しかし、国の「大学の入学定員超過是正策」が実施され、首都圏の大学では合格者が減少しており、結果として、大学入試合格の難易度が上昇していること。たとえば、立教大学では、17

年度入試では入学定員が454名増えたにもかかわらず、合格者数は16年度の12,838名から、11,260名に約12パーセント減少しています。高大接続改革に伴う動き（多面的評価の拡大による、推薦・AOへのシフト・面接・小論文導入、英語資格・検定試験活用の拡大）の先取りが行われていること。また、出願のポイントを抑えた上での、入試スケジュールの作成の仕方について、などの話をさせていただきました。

これから、ますます寒くなり、体調を崩しやすくなりますが、健康に注意し、一般入試を乗り切ってください。

教務部より

『今年を振り返って』

教務主任 橋本 浩

平成二九年もあと数日を残すのみとなつてしまいました。一年次生は入学試験から高校への入学と新しいことへの挑戦の一年ではなかったかと思えます。二年次生は学校にも慣れ、自分のペースをつかんで行動できたのではないかと思います。その中でも、高校生活最大のイベントである修学旅行があり、良い思い出ができたと思います。三年次生は進路選択、進路実現

に向けて活動した、活動中だと思います。皆さんを見ていて気持ちの入った時の集中力は素晴らしいものがあります、その集中力を日々の生活で出していたきたいと思えます。是非、気持ちの切り替えを早くして、「ON」と「OFF」がこまめにできるようにしてもらいたいと思います。

さて、新しい「授業三ヶ条」を提示してから一年が経過しましたが、みなさんは「授業三ヶ条」を学校生活の中に取り入れていますか？新しい「授業三ヶ条」は予習復習をして、休み時間から授業の準備をして授業に臨もうという趣旨です。スポーツに例えるならば、最初にウォーミングアップをおこなう、最後にクールダウンをする、スポーツ界では常識ですよね、勉強も同じことです。これを実行すること

授業三ヶ条

五分前行動

五分前には移動完了
教科書類の準備完了
スマホはしまし授業の予習

手帳の活用

常に手帳を準備する
メモを取る習慣を身につける
計画や振り返りに活用する

予習復習

予習復習をして授業に臨む
解らないことは質問する
繰り返すことで理解を深める

にする、社会に出たらスケジュール管理は最低限のマナーです。

あらためて「新授業三ヶ条」を見てみよう。「五分前行動」「手帳の活用」「予習復習」が三本の柱である。そして、三本の柱に意味を持たせました。「五分前行動」とは、五分前に移動を完了し、教科書類の準備をおこなない、授業の予習をする。「手帳の活用」とは、今来手帳を常に手元に置き、メモを取る習慣を身につけ、勉強の計画やテストの振り返りに活用する。「予習復習」とは、勉強を授業だけで終わりにせず、予習復習をして授業に臨み、解らないことをそのままにしない、理解をはかるという思いが、「授業三ヶ条」にはあります。

少々、話は変わりますが、二学期の成績が終業式にみなさんの手元に来ますが、二学期の成績だけ見て一喜一憂しないで、もっと長いスパンで考えて欲しいと思います。その場だけで喜びや悔しさを忘れてしまうのではなく、一年間というスパンで考えてください。

一年間の結果は一学期、二学期、三学期の合計として三月に出ます。さらに三年間の結果は進路実現という形で出てくるのです。毎日コツコツと努力するのは、忍耐力が必要ですが、「ローマは一日にして成らず」です、強い意志と目

標を持ち、「授業三ヶ条」を実践して、学力向上に取り組んでください。

保健室よの

『二学期を終えて』

養護教諭 竹永恵美

荒井ゆかり

◎冬に多い感染症について

寒さが厳しくなり空気も乾燥しています。この時季心配なのがインフルエンザと感染性胃腸炎です。どちらも手洗い・うがいです。どちらが出来ます。外出から帰った時や食事の前は必ず手洗い・うがいをしましょう。症状が出た場合は早めに病院を受診して下さい。インフルエンザ、感染性胃腸炎は出席停止です。登校できるようにしたら担任から感染症による出席停止届を受け取り学校へ提出してください。

◎健康診断治療票について

一学期に各健康診断を実施し、治療が必要な場合には治療票を配布しました。もう治療は済み了吗か。まだ治療が終わっていない人は、冬休みを利用して必ず受診しましょう。治療後は保健室に治療票を提出してください。

◎二学期の保健室来室について
二学期の保健室来室者数は、9月1日～12月15日までの集計で654人でした。

内科的理由が一番多かった。症状は頭痛でした。風邪・発熱のための頭痛の他睡眠不足による頭痛の生徒も多くいました。外科的理由が一番多かったのは擦過傷でした。

◎冬休みの生活について

冬休みを迎え生活リズムが乱れやすくなります。冬休みだからといっていつもの起床時間より二時間以上遅く起きる生活をしていると体内時計がくるってしまいます。体内時計がくるってしまくと夜眠れない、朝いつもの時間に起きられないなど生活に支障をきたします。くるってしまつた体内時計を元に戻すには1～2週間かかります。冬休み中も規則正しい生活を心がけ、三学期すつきり目覚めて元気に登校しましょう。

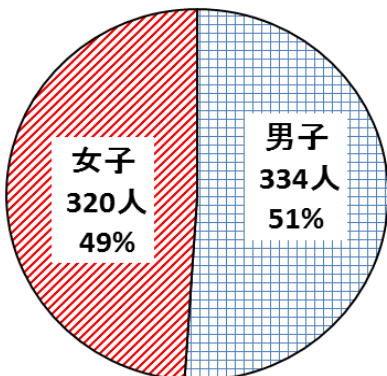
◎日本スポーツ振興センターについて

学校管理下だけが等をして病院を受診した人でまだ申請をしていない人は保健室に来てください。申請できる期間は二年間です。忘れずに申請してください。

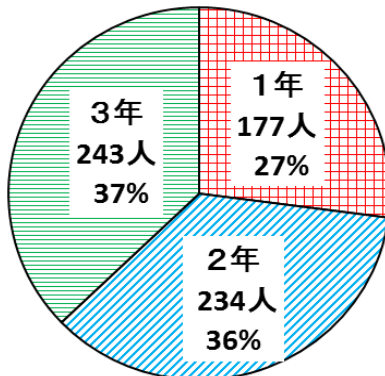
H29年度 2学期保健室来室状況 (H29.9/1～12/15)

		9月		10月		11月		12月		計(人)
		内科	外科	内科	外科	内科	外科	内科	外科	
1年	男子	24	3	16	5	16	5	10	9	88
	女子	16	25	17	8	14	4	2	3	89
2年	男子	36	12	27	9	28	6	8	7	133
	女子	28	6	29	5	19	2	7	5	101
3年	男子	28	13	29	6	12	10	4	11	113
	女子	36	13	24	6	31	7	5	8	130
計		168	72	142	39	120	34	36	43	654

男女比



学年比



来室理由

